

2 除草剤の使用法

(1) 除草剤使用上の共通的注意事項

使用

- ・ 薬剤ごとに定められた使用法（登録表示、使い方等）、収穫前制限日数及び使用回数（適正使用基準）を厳守する。
- ・ 同一薬剤を長年にわたって連続使用しない。
- ・ 隣接ほ場など周囲の環境条件に配慮するとともに、水田に接する作物にも注意を払い、また主要河川に近い場所で一時に広範囲で使用する場合は、魚毒性に十分注意する。
- ・ 漏水田での使用は代かきを特に丁寧に行ない、減水深を少しでも減らす。
- ・ 粒剤は均一散布に努めるが、1キロ粒剤は特に注意する。
- ・ 田面の均平化につとめる。
- ・ 散布後は田面の露出を避けるために一定期間（4～5日間）湛水状態を保ち、かけ流しをしない。
- ・ 畦畔からの漏水防止には、畦マルチを行うとよい。
- ・ フロアブル剤、ジャンボ剤、顆粒剤、さらに拡散粒剤等は、剤型の性質を十分把握し使用する。

葉害

- ・ 軟弱徒長苗や植え傷み水稲に対する使用は、時期を遅らせ活着を待って散布する。
- ・ 低温時、高温時の使用は、葉害の発生に注意する。
- ・ 多雨が予想される場合は効果にふれが生ずるため散布しない。
- ・ 未熟有機物の多量使用は、葉害を助長しやすいので注意する。
- ・ 他の農薬との近接散布にも注意する。
- ・ 粒剤どうしの混用散布は原則として避ける。

(2) 主要な水田除草剤の使用例

ア. 移植水稲①（初期一発剤または初中期一発剤）



移 植 後	
粒 剤	フロアブル剤
ウルフェース	アワードフロアブル
ザークD	クサメッツフロアブル
スパークスター	等
レインジャー	
プロスパー 等	

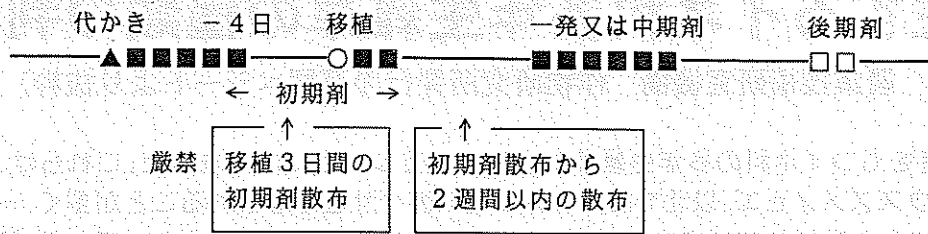
イ. 移植水稲②（体系処理）



初 期 剤		中 期 剤 又は一発剤	(後 期 剤)
ア移植前 (4日前まで)	イ移植前又は移植後 (4日前まで)		
エリジャン乳剤 等	ユニハープフロアブル 等	クロアSM粒剤 マメットSM粒剤 バサグラン水和剤 又は粒剤 等	グラスジンM粒剤 2,4-D剤 MCP 等 等

注) 同一系統剤の大面積、長期間連続使用はさける。(環境汚染、残留等)

※ 特に避けるべき体系の例



※ 総使用回数1回の薬剤成分

ベンチオカーブ、ジメピレート、エスプロカルブ、プロモブチド、ピラゾレート、ピラゾキシフェン、ナプロアニリド、ダイムロン、ベンゾフェナップ、ベンタゾン等
を含む薬剤は安全使用基準に基づき総使用回数1回であるので重複散布をしない。

ウ. 乾田直播

耕起前処理剤	播種直後処理剤	1～2葉期 処理剤	入水後処理剤
ブリグロックスL液剤 バスタ液剤 ラウンドアップ 等	サターンバアロ乳剤 エス乳剤	スタム乳剤35 クリンチャーバスタ乳剤 等	各種一発剤 マメットSM粒剤 バサグラン粒剤等

エ. 湛水土壤中直播

播種直後処理剤	ノビエ2葉期まで
サンバード粒剤 バイサー粒剤	ブッシュ粒剤 (イネ 0.5葉期から) ウルフエース粒剤 (イネ 1葉期から) キックバイ粒剤 (播種後5日から) サンウェル粒剤 (播種後5日から)

(参考資料)

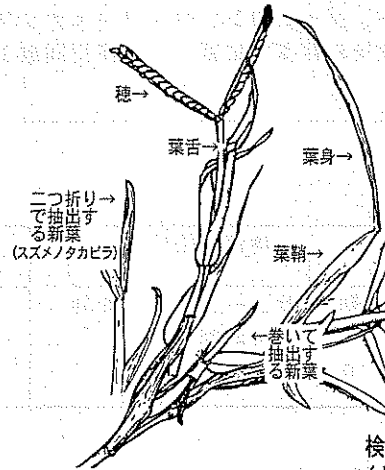
水田に発生するイネ科多年生雑草の種類の判別

(独立行政法人 農業技術研究機構 作物研究所発行の草調べシートより抜粋)

近年、匍匐する稈や根茎をもつイネ科の多年生雑草が水田に目立つようになりました。これらは、本州中央部以南ではキシウスズメノヒエ、以北ではエゾノサヤヌカグサとみなされることが多く、一括して「ヤベツル(ヨベツル)」とも呼ばれています。これらは、前2種を含めた約10種からなっており、除草剤に対する反応も異なっているため、まず正確な名前を確かめましょう。穂の出た状態では雑草図鑑などで識別可能です。穂の得られない時には生葉を取り、下図に示した形質を確認して検索表を活用します。

水田に発生するイネ科多年生雑草の 葉身・葉鞘形態に基づく検索表 (森田他を一部修正)

- a : 新葉は巻いた状態で抽出する
 - aa : 葉鞘は無毛で平滑
 - aaa : 全体無毛、小下は膜質で明瞭 : ハイコヌカグサ
 - ab : 葉鞘は著しくざらつく
 - aba : 小舌は明瞭 : アンカキ
 - abb : 小舌は低く、目立たない
 - abba : 葉耳部は淡緑色 : エゾノサヤヌカグサ
 - abbb : 葉耳部は赤褐色 : サヤヌカグサ
 - ac : 葉鞘は有毛
 - aca : 小舌は三角形 : チゴザサ
 - acb : 小舌は切形で目立たない
 - acba : 葉鞘の白毛は散生 : キシュウスズメノヒエ
 - acbb : 葉鞘の白毛は密生 : チクゴスズメノヒエ
- b : 新葉は二つ折りの状態で抽出する
 - ba : 葉鞘は合着して筒形、葉身は革質、葉身・葉鞘とも無毛 : ドジョウツナギ
 - bb : 葉鞘は下部のみ合着、葉身は薄紙質、帯灰緑色、小舌は薄膜質、葉身・葉鞘とも無毛
 - bba : 葉身の幅は3mm前後、小舌長より長い : ウキガヤ
 - bbb : 葉身の幅は5mm前後、小舌長より短い : ムツオレグサ
 - bc : 葉鞘は開く、葉耳と葉身下部に白毛を散生 : ギョウギシバ



検索に必要な部位の名称
(キシウスズメノヒエ)

b : 新葉は二つ折りの状態で抽出する、葉身・葉鞘とも無毛

ドジョウツナギ b-1



ba : 葉鞘は合着して筒形、葉身は革質

b : 新葉は二つ折りの状態で抽出する、葉身・葉鞘とも無毛

ウキガヤ b-2



bb : 葉鞘は下部のみ合着、葉身は薄紙質、帯灰緑色、葉舌は薄膜質
bba : 葉身の幅は3mm前後、葉舌長より長い

b : 新葉は二つ折りの状態で抽出する、葉身・葉鞘とも無毛

ムツオレグサ b-3

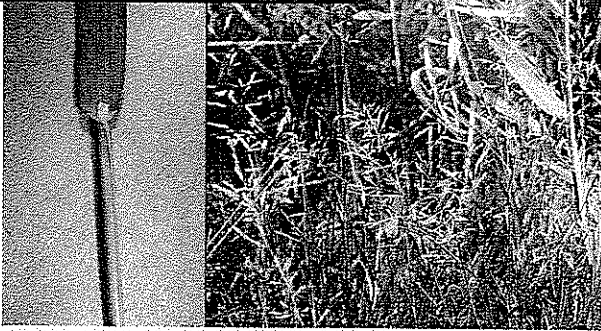


bb : 葉鞘は下部のみ合着、葉身は薄紙質、帯灰緑色、葉舌は薄膜質
bbb : 葉身の幅は3mm前後、葉舌長より長い

a : 新葉は巻いた状態で抽出する

a a : 葉鞘は無毛で平滑

ハイコヌカグサ a-1



a a a : 全体無毛、小舌は膜質で明瞭

a a : 葉鞘は無毛で平滑

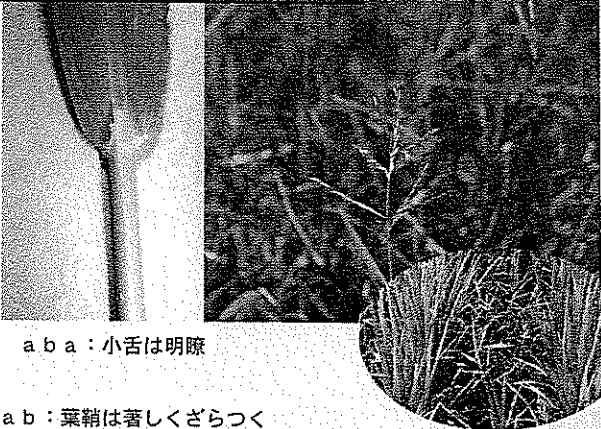
ギョウキシバ a-2



a a b : 葉耳と葉身下部に白毛を散生

a b : 葉鞘は著しくざらつく

アシカキ a-3



a b a : 小舌は明瞭

a b : 葉鞘は著しくざらつく

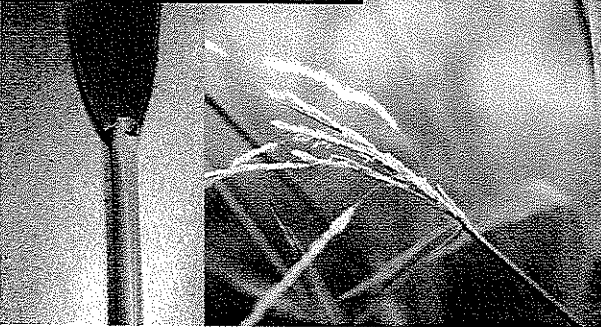
エソノサヤヌカグサ a-4



a b b : 小舌は低く、目立たない
a b b a : 葉耳部は淡緑色

a b : 葉鞘は著しくざらつく

サヤヌカグサ a-5



a b b : 小舌は低く、目立たない
a b b b : 葉耳部は赤褐色

a c : 葉鞘は有毛

チゴザサ a-6



a c a : 小舌は三角形

a a : 葉鞘は有毛

キショウスズメノヒエ a-7



a c b : 小舌は切形で目立たない
a c b a : 葉鞘の白毛は散生

a c : 葉鞘は有毛

チクゴスズメノヒエ a-8



a c b : 小舌は切形で目立たない
a c b b : 葉鞘の白毛は密生



国会等移転先候補地
(平成11年12月国会等移転審議会答申)

岐阜県まるごとパビリオン

飛騨美濃体験博 21



古紙配合率100%
白色度70%の再生紙を使用しています。